

尊敬される先輩とは

新3年生・新2年生へ

そろそろ新1年生が入部してきます。
こんな時期こそ、一度、尊敬される先輩を改めて考えてみるのもいいのではないのでしょうか？

以下、先生が考える後輩に尊敬される先輩像です。参考にしてください。

1. あいさつがしっかりできる先輩

→ あいさつは人間関係の基本です。

家族はもちろん、テニス部内、高校生、先生や外部の人に積極的にあいさつができる先輩。

社会でも“超一流”“カリスマ”と呼ばれる人は、自分から先にあいさつをします。

“一流になりきれしていない人”や“二流・三流”の人ほど、あいさつができません。

2. 一生懸命、部活動はもちろん、勉強や学校行事もしっかり取り組んでいる先輩

→ 声を出して部活動全体を盛り上げている先輩・気合いを入れて練習をしている先輩。

部活動を適当にやっている先輩の言うことは聞きたくありません。

尊敬される先輩は、自己管理がしっかりできます（勉強も学校行事もしっかりやります）。

3. 面倒見がいい先輩

→ 後輩が困っているとき、助けてあげるのが先輩です。

礼儀やテニスの技術、コート整備・昼ボールなどを丁寧に教えていく先輩。

できていないときは、しっかりアドバイスができる先輩。

社会でも部下指導をしない先輩やリーダーは尊敬されません。

先輩やリーダーは、後輩や部下を指導していく役割があります。

ほかにもまだまだあります。

後輩は先輩の背中を見て育ちます。ぜひとも、この新1年生が入部するこの時期を活用し、“尊敬される先輩”になってください。後輩に尊敬されながら、慕われながらの部活動生活は楽しいです。

今現在、もう“尊敬される先輩”は部内にたくさん出てきています。全員が“尊敬される先輩”になってほしいものです。

全部やるのは難しいと思う人は、まずチームのためにできることを一つやってみてください。人それぞれ個性があります。自分の得意分野を生かしてチームに貢献してください。

大きな声が出る人、テニスの技術ができる人、気配りができる人、練習メニュー作成が得意な人、部内の雰囲気明るくしてくれる人、トレーニングをしっかりやる人、勉強ができる人・・・

いろんな人がいますね。ぜひみんなの力を合わせて、もっといいチームを作っていきましょう。